

I

ICT機器の省エネルギー化の促進を目指し 高電圧直流 (HVDC) 給電システムの共同提案を開始 ～同時に、日本HPよりHVDC対応パワーサプライユニットの一般販売を開始～

- 日本ヒューレット・パッカード（以下、日本HP）とNTTファシリティーズは、データセンター等の省エネルギー化・高信頼化を可能とする高電圧直流（HVDC）給電システムと、同じくHVDC給電対応のx86サーバ「HP ProLiant サーバ」の共同提案・販売を通じて、データセンター等の省エネルギー化、高信頼化、インフラ設備の合理化を推進していくことを発表した。

昨今、クラウドサービスに象徴されるデータセンターでのICT機器の大規模化の潮流と、国内の電力供給環境の変化により、ICT機器に対する省エネルギー化ニーズはますます高まっている。2004年より両社はブレードサーバなどの大規模ICT機器導入と、電源・空調システムなどのファシリティ構築を合わせたシステム環境構築トータルソリューション事業における業務提携をスタートし、地球環境に配慮した、より安心・安全なシステム環境構築をワンストップで提供してきた。今回、両社はその業務提携を拡大し、NTTファシリティーズが提供するHVDC給電システムと、日本HPが提供するHVDC対応サーバの共同提案・販売を開始する。この提携拡大を通じて提供されるHVDC給電システムと対応サーバにより、従来の一般的なAC給電システムと比べて高い信頼性を維持しながら、データセンター全体で約20%の電力削減や、給電設備の電源スペースを最大40%削減することが可能になる。これらの高い費用対効果のデータセ

ンター/ICT環境の提供を通じて、お客様のICT機器の省エネルギー化ニーズを高い次元で対応していく。

HVDC給電システムは、NTTグループ連携のもと、NTTファシリティーズとNTT環境エネルギー研究所がいち早く研究開発に着手し、技術検討、性能仕様検討だけでなく安全等も含めて国際標準化機関での標準化活動を進めている。NTTファシリティーズでは、HVDC給電の整流装置をはじめ、既存のDC48VやACを入力とするICT機器への給電を可能とするシステムの開発・販売を行っている。

日本HPでは、国際標準化をリードするNTTファシリティーズとNTT環境エネルギー研究所と歩調を合わせ、HP米国本社とともにHVDC給電に対応したICT機器の研究や開発を進め、本年8月からDC 380V供給に対応したパワーサプライの販売を開始した。新たに販売を開始するパワーサプライは、米国・日本をはじめHPがグローバルで提供・販売するICT機器の多くで採用されているHP共通電源モジュール規格で設

計・製造されており、1つのモジュールでありながら幅広いICT機器のHVDC対応を実現することが可能だ。このDC 380V対応パワーサプライは交流モデル（HP社製）に比べて入力容量（VA換算）を最大6%程度小さくでき、蓄電池を含めた電源インフラ設備全体のコスト・スペース低減に貢献できる。まず第1弾のHVDC電源対応機器として、2U筐体に最大2プロセッサ搭載可能なHP ProLiant DL380p Gen8サーバなど、計4機種をサポートする。今後はさらに対応ラインアップを拡大し、データセンター向けx86サーバラインアップの約60%をHVDC対応モデルにすることで、HVDC給電システムの普及を促進していく。

●お問い合わせ先●

日本ヒューレット・パッカード(株)
カスタマー・インフォメーションセンター
TEL：0120-436-555
URL：http://www.hp.com/jp/

(株)NTTファシリティーズ
総務人事部 広報室
TEL：03-5444-5112
URL：http://www.ntt-f.co.jp/